

重点施策①

4つのアプローチからなる 子育て施策のさらなる進化

①ライフステージに合わせた支援制度の充実、②个性的で子育て目線で整備された子育て施設の充実、③事業所や地域が連携し子育てを支える仕組みの強化、④個性を伸ばし人間性を高める教育の推進という「4つのアプローチからなる子育て施策のさらなる進化」により、「子育てするなら燕市で」と評価してもらえるよう取り組みます。

①ライフステージに合わせた支援制度の充実

妊娠・出産

拡 プレコンセプションケア事業
【予算額】21万円

将来の妊娠・出産に向けた健康づくりの大切さやライフデザインを考えるきっかけづくりとしてセミナーを開催します。
◆中学生を対象とした食の視点からの健康管理セミナー
◆高校生と赤ちゃんの交流会
◆高校生・市内在勤の若手社会人を対象としたセミナー

拡 不妊・不育症治療費助成事業
【予算額】2,150万円

先進医療による不妊治療を助成対象に加え、不育治療に対する助成率を拡充し、いずれも助成上限額を引き上げます。
◆不妊治療
上限額50万円(従来) → 70万円
◆不育治療
助成率1/2(従来) → 10/10
上限額10万円(従来) → 20万円

拡 産後ケア事業
【予算額】185万円

助成上限額を引き上げるとともに訪問型サービスを対象に追加します。
◆宿泊型サービス利用料
上限額1万5,000円(従来) → 2万9,000円
◆デイサービス型サービス利用料
上限額8,000円(従来) → 2万円
◆訪問型サービス(追加)
上限額9,000円
(双子は1万1,000円)

育児

新 赤ちゃん紙おむつ購入費助成事業
【予算額】451万円

乳児の紙おむつの購入費を助成します。
◆0歳児1人当たり1万円



拡 おむつ用ゴミ袋配布事業
【予算額】252万円

乳幼児の保護者へ渡しているおむつ用ゴミ袋のサイズを大きくし、総量を大幅に増量します。
◆計3,000L[10L×300枚](従来) → 計5,000L [20L×100枚+30L×100枚]

新 乳児に係る検査費助成
【予算額】628万円

乳児の検査に係る次の費用を新たに全額助成します。
◆新生児聴覚検査費用
◆乳児1カ月健診費用

就園・就学

拡 遠距離通学バス保護者負担の無償化
【予算額】3,161万円

小中学校の遠距離通学に係るスクールバス運行費用の保護者負担を原則無償化します。



拡 こどもインフルエンザ予防接種費助成事業
【予算額】2,324万円

子どものインフルエンザ予防接種費の助成対象を拡大し、助成額も増額します。
◆対象:生後6カ月～小学6年生(従来) → 生後6カ月～高校3年生
◆助成額:1回のみ1,000円(従来) → 接種1回につき2,000円 (13歳未満までは2回接種)

拡 子育て世帯応援給食費補助金
【予算額】9,731万円

園・学校における給食費(食材費)の物価高騰分を補助し、保護者負担額を据え置きます。
◆1人あたり1,000円程度/月



②个性的で子育て目線で整備された子育て施設の充実

拡 屋内こども遊戯施設建設事業
【予算額】12億3,166万円

子育て環境のさらなる充実を図るため、季節や天候に関わらず、子どもたちが身体を使って思いっきり遊ぶことができる屋内型遊戯施設の建設を進め、令和7年3月の開設を目指します。

開設に向けて施設の愛称を募集します。詳しくは15ページ。



外観イメージ

新 児童研修館「こどもの森」リニューアル事業
【予算額】1億2,260万円

豊かな感性を育む知育玩具などを整備するとともに、外壁や空調設備等の長寿命化工事などのリニューアルを実施します。



内観イメージ

③事業所や地域が連携し子育てを支える仕組みの強化

拡 つばめ子育て応援企業サポート事業
【予算額】1,066万円

仕事と子育ての両立に向けた市内企業の職場づくりを支援します。

◆つばめ子育て応援企業認定制度
中学校・高校でのパネル展示やSNSなどで男性育休体験談の発信
◆男性の育児休業取得促進奨励金
燕市に本社がある子育て応援企業においては、燕市民に限り、市外営業所などに勤務する男性従業員も対象に追加

◆企業訪問型男性育休啓発
社会保険労務士による訪問予定数40社(従来) → 50社
厚労省認定「くるみん」「ユースエール」「えるぼし」取得を働きかけ



拡 部活動の地域移行事業
【予算額】1,664万円

休日の部活動の段階的な地域移行を進めます。令和6年度は対象種目と実施回数を拡大します。

◆対象:4種目(従来:陸上、バレーボール、バスケットボール、バドミントン) → 全てのスポーツ活動
◆実施回数:月1回(従来) → 月2回

拡 コミュニティ・スクール推進事業
【予算額】385万円

学校と地域が一体となって子どもたちを育む「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」を市内全小中学校に導入します。

◆導入校:3校(従来) → 全19校

④個性を伸ばし人間性を高める教育の推進

新 こどもが贈る「ありがとうのプレゼント」事業
【予算額】320万円

11月第3週に「感謝を贈る日」を設け、すべての保育園・こども園の年少から年長まで約1,500人の園児が心を込めてお花や似顔絵などを家族に贈ります。

新 つばめトランプ制作事業
【予算額】155万円

子どもたちの郷土愛を醸成するため、絵札に燕らしさを取り入れた「つばめトランプ」を制作します。絵札のデザインは「つばめっ子かるた」の制作にも携わった黒井健さんに作画いただきます。